

[第二部：午後の部]

本日、学位記を受け取られる卒業生ならびに修了生の皆さん、誠におめでとうございます。日本体育大学の教職員を代表してお祝いを申し上げます。また、残念ながらこの会場にお迎えすることはできませんでしたが、この晴れの日を迎えるまで、その成長を傍らで見守ってこられた保護者ならびにご家族の皆さま、誠におめでとうございます。これまでの本学の教育活動へのご理解とご支援に厚く御礼を申し上げます。

本来であれば、体育学部の卒業生も一緒になって、この旅立ちをお祝いすべきところですが、感染防止の観点から、体育学部を除いた式典となることを、御理解賜ればと思います。

さて、皆さんの大学生活及び大学院生活はいかがでしたでしょうか。2020年初頭にはじまった新型コロナウイルス感染症の拡大により、皆さんの学生生活は一変しました。多くの授業がオンラインとなり、様々な行事、実習、実験が中止となり、学友会活動はもとより、ボランティアやアルバイトもできない時間が多く、心穏やかに過ごせなかったかと思います。感染におびえ、不安を感じたり、孤独感を味わったりしたこともあったのではないかと思います。大学院生にとっても、実験や調査が進まず、苦しい時間を過ごしていたのではないかと思います。

コロナの問題に悩まされてきたこの2年間は、改めて人と人との繋がり大切さ、心と体の健康、さらには、スポーツ、教育、研究、医療の在り方を考え直す期間であったように思います。こうした困難な中で、皆さんが元気に学生生活を送り、学んでいく姿は、私たち教職員にとって、救いでもあり、希望の光でもありました。

思い返しますと、学友会活動では、多くのクラブが全国大会にて好成績を収めてくれました。また、様々な形でボランティア活動に従事する学生も見られていました。大学院では、すぐれた研究業績が数多く生み出されました。

また、今年度は夏季及び冬季のオリンピック・パラリンピック大会が開催され、本学の学生、同窓生、また多くの関係者が、選手として、コーチや役員として、医療従事者として、ボランティアスタッフとしての活躍する姿が見られていました。私たちは、こうした姿に大きな感動をうけ、同時に、本学の関係者を誇りに感じました。閉塞した社会の中で、皆さんの活躍する姿は、多くの国民に夢と勇気を与えたのではないかと確信しています。

さて、皆さんが卒業後に旅立つ社会は、ご承知の通り、行き先が不透明で、予測困難な社会であると言われており、専門家の間ではブーカ時代と呼ばれています。このブーカとは「変動性」「不確実性」「複雑性」「曖昧性」を示す英語の頭文字をとって創ら

れた造語です。

昨今の新型コロナウイルス感染症の流行に留まらず、地球温暖化による気候変動や異常気象による自然災害の増大、コンピューターや SNS 技術に代表されるような IT 化が進められ、この活用を通じてビジネスモデルや組織が変革されるデジタルトランスフォーメーション、いわゆる DX 社会の到来などが予想されています。一方で、ミャンマー国内でおこった軍事クーデターやアフガニスタンの首都カブールが陥落し、タリバンが復権したこと、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に見られるように、暴力を背景として、多くの人々の命が奪われ、平和な日常が脅かされる事態も起こっています。このように、これから先は予測困難なことが数多く待ち受けている時代であるともいえます。

しかし、ただ単に不安に思っているのではなく、大切なことは、適切な情報の収集と、的確な意思決定です。これは皆さんがスポーツ活動や研究活動の中で学んできたことと全く同じです。SNS 上のフェイクニュースや、根拠のない噂に振り回されるのではなく、適切な情報を集め、的確な意思決定をしていくことが大切です。

閉塞した社会を変え、次の未来を創っていくのは、皆さんのような若者達です。江戸時代の末期から明治時代の初期にかけて、明治維新がなされました。国の在り方を憂い、欧米列強と同じ地位にこの日本を押し上げようとしていたのも、皆さんのような若者達です。この明治維新のスピリッツにならい、本学でも「日体維新」として様々な改革をしています。皆さんも変革を恐れない考え方をもち続けて欲しいと思っています。

どんなに社会が変わっても、自分の人生を前向きに切り開いていくのは皆さん自身であり、皆さんにはその力が備わっているはずです。授業、学友会活動、研究活動、実習、ボランティア、アルバイトなど、多様な活動を通じて皆さんは前を向いていく力を身に付けているはずです。本学での経験を生かし、様々な人と繋がり、課題に立ち向かっていって下さい。日体大生としての誇りをもって、実社会で活躍していって下さい。人生 100 年時代の中で、苦しい時も悩む時もあると思います。しかし、きっと素晴らしい未来が皆さんには待っているはずです。前進なくして変化は起こりえない、ということを心に刻んでおいていただきたいと思います。

卒業生ならびに修了生の皆さんの今後の大いなる活躍と、なお一層の発展を祈念し、学長としての訓辞といたします。本日はおめでとうございます。

令和 4 年 3 月 15 日
日本体育大学 学長 石井隆憲